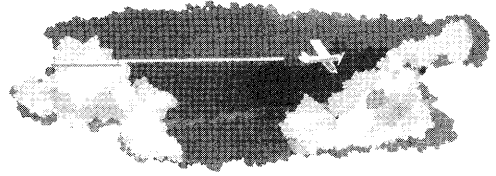


饗筵

宮坂静生

神奈川県立近代美術館葉山

雪あかりよりしづかなる学芸員
枯山に沈む日むらさきの饗筵
心中の無窮にいつも蒼鷹
雪を搔きゐて領分のおのづから
お日さまをみんなで齧る寒土用
芥川の河童二月は死がにほひ



耳屏風地獄の風の音きこゆ

地下壕を掘りし厳寒われは礪

礪—瓦礫

座光寺亭人を偲ぶ

鉄火場をくぐりて獺の祭見に

風船は黄泉荒野へ帰りけり

消ゆる日の近し常念坊よおーい

常念坊—雪形

霾は骨か海岸廻りバスに揺れ

早春の孔雀よ裸婦は曾太郎

路地ごとに教会夏柑が撓

